

刊 行 要 領

1. 発刊の趣旨

書名のサブタイトルにある「新聞OBわが人生」は、創刊号からずっと踏襲してきたものです。新聞産業における労働など、戦中、戦後の様々な体験や感慨を手記集としてまとめ、お互いの生きるよすがにしたいと思います。さらに、一回りも二回りもひろく購読者をひろげるためにご尽力をお願いいたします。

2. 第 10 集のテーマ

今回の東日本大震災と津波、原子力発電所の事故に見られるように、いのちと暮らしを守るという観点、さらにきな臭い戦争の危機と平和を求める気持ちを綴って下さい。新聞メディアをめぐる状況も深刻です。“IT時代”と今日の「国難」に立ち向かうべき「新聞の役割」や「新聞の原点」に迫る課題についても綴ってください。

さらに、一人ひとりのこれまでの生きざまや人生の哀歓を含めて、自由なテーマを選んでください。

3. 書名・体裁など

◇書名＝新聞OB会結成 30 周年記念合同文集

『オレンジの旗―新聞OBわが人生』第 10 集

◇体裁＝A5 判並製・カバー付 ◇刊行予定日＝2012 年 5 月末日

◇刊行部数＝1000 冊 ◇頒布予定価格＝1 冊 1500 円（送料込み）

4. 執筆参加の要件と贈本など

- ① まず、同封のハガキで執筆参加の申し込みをお願いいたします。執筆考慮中の方もお知らせください。また、寄せられた「ひとこと」は第 10 集に新聞OB会結成 30 周年記念・「ひとこと集」として掲載します。
- ② 「合同自費出版方式」により、執筆分担金は原稿 1 点 2000 字で 1 万 5000 円(新設)、1 点 4000 字で 2 万 5000 円とします。詩歌、短歌、俳句などは 1 ページ当たり 5000 円とします。
- ③ 執筆者への贈本冊数は、2000 字原稿 1 点で 5 冊、4000 字原稿 1 点で 10 冊、詩歌・短歌・俳句などは 1 ページにつき 2 冊をそれぞれ贈本します。

5. 購読の予約と販売普及

購読をご希望の方、さらにご友人などに販売普及していただける方は、その希望冊数を同封ハガキにご記入いただき 5 月末日必着でご返信ください。

<裏面に続く>

6. 執筆原稿の形態・様式・送付方法・締切日

- ① 原稿は縦書きを原則とし、パソコンやワープロでの入力データで下記アドレスに送付してください。 **メールアドレス：sinbun1502@gmail.com**
- ② やむをえず手書きの原稿の場合は下記へ郵送してください。出版委員会で入力処理します。
〒130-0033 文京区本郷 2-17-17 井門本郷ビル 6F (新聞労連気付)
***必ず「オレンジの旗」原稿と朱書で新聞OB会出版委員会あて**
- ③ 筆者校正を行いませんので数字、単位、人名、地名などは正確を期すようお願いいたします。
難読文字にはふりがなを付けてください。
- ④ 原稿の締切日は **2011年11月末日** (厳守) とします。

7. 執筆分担金の送り先

執筆分担金は原稿送付と同時に「郵便為替」で下記にご送金してください。

郵便為替番号 **「新聞OB会出版委員会」No. 00130・7・174449**

新聞OB会出版委員会は、新聞OB会の役員を中心に構成されたメンバーから成り、『オレンジの旗』第10集の刊行事業を担当します。新聞OB会に「出版特別会計」を設け、決算上で欠損を出さないよう万全を期します。

私たちはこの第10集を「語り部活動」の一つとして受け止め、広く普及するために努力いたします。どうか会員・会友の皆さんも、積極的に執筆参加をお考えください。そして、一人でも多くの方々に第10集の購入を呼び掛けてください。重ねてご協力をお願いいたします。

なお、ご不明な点、お問い合わせなどは出版委員会宛てにお申し出ください。

【新聞OB会・出版委員会】

委員長	四宮 晴彦	(日刊工)
事務長	赤川 博敏	(毎日)
委員	石塚 勝	(毎日)
〃	岩月 仁志	(東京中日)
〃	大田 宣也	(共同)
〃	河合 良一	(日経)
〃	高山 尚武	(産経)
〃	田原 恒男	(読売)
〃	半田 功有	(報知)
〃	松田 彪	(日刊工)
〃	山川 智	(道新)
〃	芳尾 孝治	(内外)
	名前は50音順	(出身)